

宮澤健一先生年譜及び著作目録

I 略 年 譜

- 1925 年 (大正 14 年) 9 月 横浜市に生まれる
- 1948 年 (昭和 23 年) 3 月 東京商科大学 (現一橋大学) 卒業
 3 月 横浜市立経済研究所助手に就任
 4 月 東京商科大学研究科入科 (在科 2 年)
- 1949 年 (昭和 24 年) 6 月 横浜市立大学助手
- 1953 年 (昭和 28 年) 4 月 横浜市立大学助教授
- 1958 年 (昭和 33 年) 7 月 経済企画庁に新設の経済研究所の主任研究官を兼務
- 1960 年 (昭和 35 年) 6 月 経済審議会専門委員, 以降 1965 年にかけて, 国民経済計算審議会専門委員, 経済審議会臨時委員, 国民生活向上対策審議会委員など
- 1961 年 (昭和 36 年) 4 月 慶應義塾大学商学部講師
- 1962 年 (昭和 37 年) 4 月 エコノミスト賞を受賞 (論文「資本集中と二重構造」)
- 1964 年 (昭和 39 年) 4 月 横浜市立大学教授
 7 月 北海道大学経済学部講師
- 1965 年 (昭和 40 年) 7 月 一橋大学教授
- 1966 年 (昭和 41 年) 11 月 国民生活審議会委員, 以降 1970 年にかけて, 経済審議会臨時委員, 統計審議会専門委員, 学術審議会専門委員, 国家公務員採用試験専門委員など
- 1967 年 (昭和 42 年) 12 月 日本学術会議経済学研究連絡委員会委員として, アメリカ合衆国へ学会報告及び連絡協議に派遣
- 1968 年 (昭和 43 年) 4 月 早稲田大学第一政治経済学部講師
 5 月 東北大学経済学部講師
 11 月 公正取引委員会に発足の独占禁止懇話会会員
- 1969 年 (昭和 44 年) 6 月 経済学博士の学位を受く (一橋大学), 学位請求論文「経済構造の連関分析」
- 1970 年 (昭和 45 年) 7 月 イエール大学エコノミック・グロース・センター客員研究員
- 1971 年 (昭和 46 年) 3 月 経済審議会臨時委員, 以降 1975 年にかけて, 国民生活審議会委員, 産業構造審議会委員, 同専門委員, 国民経済計算調査会議委員, 統計審議会専門委員, 公認会計士審査会試験委員など
- 1975 年 (昭和 50 年) 5 月 一橋大学経済学部長
 5 月 一橋大学院経済学研究科長
 6 月 国民生活審議会委員, 以降 1980 年にかけて, 経済審議会臨時委員,

- 大学設置審議会委員，統計審議会専門委員，国民経済計算調査会議委員，公認会計士審査会試験委員など
- 1977 年 (昭和 52 年) 2 月 一橋大学長事務取扱
4 月 経済企画庁流通問題研究会 (座長)
10 月 九州大学経済学部講師
11 月 日経経済図書文化賞を受賞 (著書 *Input-Output Analysis and the Structure of Income Distribution*)
- 1979 年 (昭和 54 年) 4 月 京都大学経済研究所講師
- 1980 年 (昭和 55 年) 7 月 一橋大学長
9 月 国民生活センター運営協議会委員，以降 1985 年にかけて，大学設置審議会委員，国民生活審議会委員，統計審議会専門委員，大学入試センター評議員，日本学術振興会流動研究員等審査会委員など
- 1981 年 (昭和 56 年) 4 月 理論・計量経済学会会長
11 月 日本国国立大学長訪中団団員として，北京，長春，西安，蘇州，上海など訪問，中国の研究教育活動等を視察
- 1982 年 (昭和 57 年) 10 月 日本銀行に新設の金融研究所顧問
- 1983 年 (昭和 58 年) 7 月 退官，一橋大学教授に復帰
10 月 神戸賞を受賞 (編著『製造物責任の経済学』)
- 1985 年 (昭和 60 年) 4 月 社会保障研究所参与
10 月 年金審議会委員 (資金問題懇談会座長)
- 1986 年 (昭和 61 年) 4 月 社会保障研究所理事
8 月 社会保険審議会委員，以降 1990 年にかけて，国民生活安定審議会委員，国民生活センター運営協議会委員，年金資金懇談会委員，国際産業連関懇談会委員など
- 1987 年 (昭和 62 年) 11 月 公正取引委員会経済調査研究会 (座長)
- 1988 年 (昭和 63 年) 4 月 放送大学客員教授
- 1989 年 (平成元年) 2 月 社会保険審議会 (会長)
3 月 一橋大学を停年退官
4 月 一橋大学名誉教授
4 月 八千代国際大学教授
7 月 臨時行政改革推進審議会参与
- 1990 年 (平成 2 年) 4 月 社会保障研究所長
- 1991 年 (平成 3 年) 3 月 国民生活センター運営協議会 (議長)
6 月 人口問題審議会委員 (会長代理)，以降 1995 年にかけて，国民生活安定審議会委員，社会保障制度審議会委員，公正取引委員会独占禁止懇話会会員，総合研究開発機構研究評議会評議員，医療経済研究機構 (副会長)，厚生統計協会理事，アジア経済研究所評議員など
- 1992 年 (平成 4 年) 8 月 農業者年金基金審査会 (会長)
8 月 医療保険審議会 (会長)

- 1993 年 (平成 5 年) 2 月 保育問題検討会 (座長)
1995 年 (平成 7 年) 4 月 社会保障研究所顧問
6 月 人口問題審議会・人口問題と社会サービスに関する特別委員会 (委員長)
7 月 公正取引委員会独占禁止懇話会 (会長)
9 月 社会保障制度審議会 (会長)

II 著作目録

1. 著 書

- 『日本の経済循環』春秋社, 1960 年 (第 4 版, 1980)
『経済数学——経済分析と数学論理』評論社, 1961 年
『巨視経済学』至誠堂, 1962 年 (新書版, 1976)
『経済構造の連関分析』東洋経済新報社, 1963 年
『国民所得理論』筑摩書房, 1967 年 (三訂, 1984)
『産業の経済学』東洋経済新報社, 1975 年 (第 2 版, 1987)
Input-Output Analysis and the Structure of Income Distribution, Springer-Verlag, Berlin, Heidelberg, New York, 1976
『現代経済の制度的機構』岩波書店, 1978 年
『通論経済学』岩波書店, 1981 年
『現代経済学の考え方』岩波書店, 1985 年
『業際化と情報化——産業社会へのインパクト』有斐閣, 1988 年
『制度と情報の経済学』有斐閣, 1988 年
『マクロ経済学入門——ジュニア版・国民所得理論』筑摩書房, 1989 年
『高齢化産業社会の構図』有斐閣, 1992 年

2. 編 著

- 『産業構造分析入門』有斐閣, 1966 年
『産業機構』筑摩書房, 1971 年
『消費者被害救済制度の経済効果に関する研究』国民経済研究協会, 1975 年
『超インフレ時代』学陽書房, 1975 年
『産業連関分析入門』日本経済新聞社, 1975 年 (第 6 版, 1995)
『製造物責任の経済学』三嶺書房, 1982 年
『高度情報化社会の流通機構』東洋経済新報社, 1986 年
『流通システムの再構築』商事法務研究会, 1989 年
『国際化時代の流通機構』商事法務研究会, 1991 年
『医療と福祉の産業連関』東洋経済新報社, 1992 年
『物流革新と流通の新展開』東洋経済新報社, 1993 年
『価格革命と流通革新』日本経済新聞社, 1995 年

3. 共 著

- 『国民所得乗数論の拡充』（篠原三代平，水野正一と共著）有斐閣，1959 年
 『資本構造と企業間格差』（先崎久雄，赤羽隆夫，藤沢正好と共著）経済企画庁経済研究所，大蔵省印刷局，1960 年
 『日本経済の基礎構造』（川口弘，篠原三代平，長洲一二，伊東光晴と共著）春秋社，1962 年
 『計量経済モデルによる日本経済分析』（馬場正雄，上野裕也，内田忠夫，辻村江太郎と共著）経済審議会計量小委員会研究報告，経済企画庁，1965 年
 『私の日本経済論』（長洲一二，美濃部亮吉，渡辺太郎，W. W. ロックウッド，小坂徳三郎と共著）日本経済新聞社，1967 年
 『地域経済の基礎構造』（福地崇生，金子敬生と共著）春秋社，1967 年
 『経済学へのすすめ』（増田四郎，荒憲治郎，山田勇，都留重人と共著）講談社現代新書，講談社，1968 年
 『演習ミクロ経済学』（監修）同文館出版，1981 年（増補，1983）
 『演習マクロ経済学』（監修）同文館出版，1981 年（増補，1983）
 『日本経済と産業と企業』（小林靖雄，磯部浩一と共著）日本放送出版協会，1989 年

4. 共 編

- 『新版 近代経済学辞典』（山田雄三，小泉明，篠原三代平，荒憲治郎と共編）広文社，1966 年
 『近代経済学講座・計量分析編（全 4 巻）』（内田忠夫，辻村江太郎，宮下藤太郎と共編）有斐閣，1968 年
 『ケインズ一般理論研究（全 3 巻）』（小泉明と共編）筑摩書房，1970 年
 『近代経済学の基礎知識』（新開陽一，根岸隆，藤田晴，渡部福太郎と共編）有斐閣，1971 年
 『現代日本経済論』（新野幸次郎，斉藤謹造と共編）有斐閣，1973 年
 『現代経済体制論』（新野幸次郎，斉藤謹造と共編）有斐閣，1973 年
 『経済学と現代』（新野幸次郎，斉藤謹造と共編）有斐閣，1974 年
 『原典による経済学の歩み』（中山伊知郎，荒憲治郎と共編）講談社，1974 年
 『ワークブック近代経済学』（水野正一，中桐宏文と共編）有斐閣，1975 年（新版，1987）
 『日本産業教室』（竹内宏と共編）有斐閣，1976 年
 『日本の産業』（全 5 巻）中の『80 年代の基礎産業』（森谷正規と共編）筑摩書房，1980 年
 『戦後経済政策論の争点』（荒憲治郎，伊藤善市，倉林義正，佐藤隆三と共編）勁草書房，1980 年
 『流通の再構築』（高岳季昭と共編）有斐閣，1991 年
 『福祉経済社会への選択』（連合総研との共編）第一書林，1995 年

〈共編に準ずるもの〉

- 『リーディングス・日本の社会保障（全 4 巻）』（社会保障研究所編）有斐閣，1992 年
 『社会保障論の新潮流——人と学説』（社会保障研究所編）有斐閣，1995 年
 『社会保障費統計の基礎と展望』（社会保障研究所編）有斐閣，1995 年

5. 訳 書

- L. R. クライン『ケインズ革命』（篠原三代平と共訳）有斐閣，1952 年（新版，1965）
 J. S. ベイン『産業組織論』上・下（監訳）丸善，1970 年

G. S. ベッカー『経済理論——人間行動へのシカゴ・アプローチ』(清水啓典と共訳) 東洋経済新報社, 1976 年

R. H. コース『企業・市場・法』(後藤晃・藤垣芳文と共訳) 東洋経済新報社, 1992 年

6. 論文等——平成元年(1989 年)以降

* 平成元年以前については、『一橋論叢』第 102 巻 6 号(1989 年 12 月), 及び退官記念論文集(1989 年)所収の「著作目録」を参照。

〈論文〉

「市場、組織および組織間調整」松水征夫他編『現代経済の制度と組織』退官記念論文集(有斐閣), 1989 年

「現代国家の様態——経済の問題」岩波講座『転換期における人間』第 5 巻『国家』(岩波書店), 1989 年

「新 SNA 移行 10 年——その経験と課題」『季刊国民経済計算』No. 80, 1989 年 1 月

「情報化経済における競争と協調」『貯蓄経済の動向』(郵政省貯金局) 1989 年 1 月

「大店法改廃と新しい流通ビジョン」『季刊晋和』1989 年夏季号, 1989 年 6 月

「流通規制の緩和」『ジュリスト』No. 945, 1989 年 11 月 15 日

「迫りくる長寿社会の社会保障」『週刊東洋経済』4896 号, 1989 年 12 月 9 日

「日本の流通システムと流通企業」『ESP』No. 217, 1990 年 5 月

「医療・福祉活動と産業連関」『日本経済新聞』1991 年 1 月 8 日

「法と経済の接点の中で——製造物責任と私」『国民生活』第 21 巻 6 号, 1991 年 6 月

「システムとしての流通, 類型化にみる流通」『RIRI 流通産業』創刊 200 号記念号, 1991 年 6 月

「『もの』の経済からサービス経済へ」『季刊輸送展望』No. 220, 1991 年秋季号

「産業組織と高齢化産業社会」『国民経済雑誌』第 164 巻 4 号, 1991 年 10 月

「産業連関バランスにみる医療と福祉」『イノベーション&IO テクニク』第 2 巻 4 号, 1991 年 10 月

「新制度派とコース」『日本経済新聞』1991 年 12 月 25—31 日

「公共サービス化と医療の産業連関」社会保障研究所編『リーディングス・日本の社会保障』第 2 巻『医療』(有斐閣), 1992 年

「医療保障: その保険システム作動の原点を問う」『週刊社会保障』Vol. 46, No. 1670, 1992 年 1 月 6 日

「医療の産業連関と産業組織」『社会保険旬報』No. 1752, 1992 年 2 月 1 日

「私の新・資本主義論——組織の『革新』『競争』を」『日本経済新聞』1992 年 2 月 10 日

Interindustry Analysis of Public Service Activities and Economy of Medical Care, *Review of Social Policy*, No. 1, March 1992

「ヴィネット方式と年金の意識調査」『季刊社会保障研究』第 28 巻 1 号, 1992 年 6 月

「市場と統御の分担体制への模索」日本経済新聞社編『私の資本主義論』(日本経済新聞社), 1993 年

「高齢化産業社会をどうみるか」『書斎の窓』No. 421, 1993 年 1—2 月

「社会保障の役割をどう見直すか——経済体制は『混合』から『分担』へのシフトが必要」『週刊社会保障』Vol. 47, No. 1739, 1993 年 5 月 10 日

「社会保障変容の中の保育サービス」『保育の友』臨時増刊, 第 41 巻 13 号, 1993 年 10 月

「新しい時代の社会保障の在り方——体制運営への『再考』を含めて」『関西経協』第 47 巻 11 号, 1993 年 11 月

- 「人口、私はこう思う——内在する矛盾」『世界の人口』（ジョイセフ）No.243, 1994年6月
- 「介護ケアの社会保険化の条件——「介護保険」制度化をめぐる論点整理」『週刊社会保障』Vol. 48, No. 1794, 1994年6月20日
- 「介護保険の制度化をめぐる」『官公労働』第48巻9号, 1994年9月
- 「高齢化少子社会にどう備える」『秀明』第32号, 1994年11月
- 「社会保障思想の生成の背景」社会保障研究所編『社会保障論の新潮流——人と学説』（有斐閣）, 1995年
- 「社会保障の産業関連データをめぐって」社会保障研究所編『社会保障費統計の基礎と展望』（有斐閣）, 1995年
- 「少子化時代の社会と経済」『公衆衛生』第59巻6号, 1995年6月
- 「21世紀の社会保障の思考軸——「体制」変動の中の制度デザイン」『季刊社会保障研究』第31巻1号, 1995年6月
- 「世界展望の中の社会保障」『海外社会保障情報』No. 111, 1995年6月
- 「価格形成の変容と流通革新」『RIRI 流通産業』第27巻7号, 1995年7月
- 「新価格革命と経済革新の行くえ」『RIRI 流通産業』第27巻10号, 1995年10月
- 「社会保障の新しい思考軸——制度「改革」から制度の「組み替え」へ」『週刊社会保障』Vol. 50, No. 1869, 1996年1月1日
- 「介護保険のリスク特性と社会保障システム」『官公労働』第50巻3号, 1996年3月

〈辞典項目・解説・講演〉

- 「国民経済計算」『統計学辞典』（東洋経済新報社）1989年
- 「中山伊知郎」「大川一司」「篠原三代平」『現代日本朝日人物事典』（朝日新聞社）1990年
- 「産業関連表」「国民経済計算」「サービス経済化」「経営多角化」「製造物責任」「流通情報ネットワーク」「ペイン」の各項『経済学辞典・第3版』（岩波書店）1992年
- 「ノーベル経済学賞：ドナルド・H・コース」『ブリタニカ国際年鑑1992年版』（TBSブリタニカ）1992年
- 「日本経済にいま何が求められているか」『大東文化大学日本経済研究所報』1989年3月
- 「経済学辞典の使い方」『経済セミナー』増刊, 『ガイダンス経済学』1989年4月
- 「業際化と「連結」の経済性」『月刊総研ニュース』第111号, 1990年3月
- 「流通システムの再構築——90年代の流通機構」『流通コードセンターニュース』第48号, 1990年3月1日
- 「高齢化で社会保障はどう変わる」『長寿社会を考える京都フォーラム』（国際シルバーサイエンス・フェスティバル実行委員会）1990年12月
- 「公私分担システムの構築が必要——高齢化産業社会の社会保障」『週刊社会保障』Vol. 46, No. 1706, 1992年9月14日
- 「コラム『現代福祉学レキシコン』」『月刊厚生』48巻12号, 1993年12月
- 「福祉経済社会への視角——体制変動をどう捉える」『連合総研レポートDIO』No. 67, 1994年5月
- 「これからの社会保障とシルバーサービス」『シルバーサービス振興会会報』第84号, 1995年4/5月
- 「価格破壊と流通革命——価値共創型システムへの模索」『半月刊・新国策』第62巻13号, 1995年7月15日
- 「社会保障制度“再編”への道（移動マイク）」『社会保険旬報』No. 1897, 1996年1月1日

〈随想・巻頭言・視点〉

- 「『情報』への期待と信頼と」『社会保険旬報』No. 1638, 1989年1月1日
- 「凝集された時間相の中で」『一橋小平学報』第98号, 1989年1月
- 「人間の記憶と機械の記憶」『社会保険』第40巻7号, 1989年7月
- 「個人と組織, そして信頼と条件づけ」『書斎の窓』No. 386, 1989年7-8月
- 「自著を語る——制度と情報の経済学」『飛翔』No. 2, 1989年9月
- 「(視点) 福祉目的税化の憂うつ——発想ベースの転換を」『週刊東洋経済』No. 4888, 1989年10月28日
- 「(視点) 行革に終わりはない——新たな座標を鮮明に」『週刊東洋経済』No. 4892, 1989年11月25日
- 「(視点) 内外価格差——その根底に遡った要因を」『週刊東洋経済』No. 4901, 1989年12月23日
- 「(研究の窓) 社会保障再考——社会経済システムのワーカビリティの中で」『季刊社会保障研究』第25巻4号, 1990年3月
- 「忙中閑あり, …発見による思索の切り口を」『私のプロフィール: 教授陣の横顔』八千代国際大学広報室, 1990年4月
- 「視点: 流通再構築の流れの中の『大店法』問題」『RIRI 流通産業』22巻7号, 1990年7月
- 「美と醜の境い目」『社会保険』第41巻8号, 1990年8月
- 「巻頭言: 最近の社会保障の動向」『生活と福祉』No. 412, 1990年8月
- 「『時間』と入院(識者からのメッセージ)」『ヘルス TODAY』No. 51, 1990年9月
- 「時を堰き止め想いをめぐらす」『福祉新聞』第1579号, 1991年1月7日
- 「(ふるさと紀行) 変転のヨコハマ点描」『週刊社会保障』No. 1620, 1991年1月14日
- 「『守離破』の呼吸」日本学術振興会『学術振興のすすめ』(学振新書) 1991年3月
- 「いまや普遍化」『福祉新聞』第1624号, 1992年1月6日
- 「人間五十年からの脱出」『戸田サンライズ情報』第84号, 1992年6月
- 「(時代の眼) 普遍化の視点と連動化の視点」『海外社会保障情報』100号記念号, 1992年9月
- 「あとがき: 高度寡占への今日的視角」公正取引委員会事務局編『高度寡占における競争の実態』(大蔵省印刷局) 1992年
- 「制度改革のなかの年金実務への期待」『週刊年金実務』第1000号, 1992年11月23日
- 「発想の転換を」『福祉新聞』第1669号, 1993年1月4日
- 「(私のすこやかタイム) 調和と分裂のはざままで」『週刊社会保障』Vol. 48, No. 1761, 1993年10月18日
- 「第三段階にある福祉」『福祉新聞』第1715号, 1994年1月3日
- 「巻頭言: シルバーサービスの展開動向——三つのキーワードで考える」『シルバーサービス振興会会報』第76号, 1994年5-6月
- 「公私病院連盟の新たな発展に向けて」『公私病連 30年の歩み』(全国公私病院連盟) 1994年7月
- 「子はだれのもの」『児童手当』第24巻6号, 1994年9月
- 「刊行にあたって」『緑化と国際化の中の紙パルプ産業』通商産業省紙業印刷業課編(通商産業調査会) 1994年10月
- 「(コラム) 医療経済の分析とデータの体系化」『医療経済研究』創刊号 Vol. 1, 1994年10月
- 「改革への合意」『福祉新聞』第1761号, 1995年1月2日
- 「(オピニオン) 医療保険, 老人保健制度, 介護保険を連立させた制度デザインが不可欠」『MMP』第

4 卷 9 号, 1995 年 8 月

「市場化の限度と社会化の節度」『日本経済研究センター会報』739 号, 1995 年 11 月 1 日

「高齢化時代の“時間”の意味を考える」『月刊健康』441 号, 1996 年 2 月

〈対談・鼎談座談・インタビュー〉

「製造物責任と消費者」(座談会：荏岐晃才, 大嶋茂男氏と)『国民生活』第 19 卷 1 号, 1989 年 1 月

「(人ひとり) 基礎的な発想から再点検——社会保険審議会会長」(インタビュー)『週刊社会保障』

Vol. 43, No. 1524, 1989 年 2 月 27 日

「高齢化社会への対応——明るい老後を支えるために」(対談：岡崎陽一氏と)『ECO-FORUM 統計研究会ニュース』第 9 卷 4 号, 1991 年 1 月

「(特集インタビュー) 医療保険と健保組合——その未来にあるものは」『月刊けんぽ』第 32 卷 11 号, 1991 年 11 月

「(人ひとり) 国立病院も採算ベースで——国立病院療養所経営改善懇談会座長」(インタビュー)『週刊社会保障』Vol. 46, No. 1697, 1992 年 7 月 13 日

「競争の‘性質変化’をつかめ」(インタビュー)『小売経済新聞』第 858 号, 1992 年 10 月 5 日

「これからの社会保障を考える——医療は量と質のバランスが課題」(鼎談：館龍一郎, 水野肇氏と)『週刊社会保障』Vol. 47, No. 1721, 1993 年 1 月 4 日

「エコノミストの肖像：宮澤健一」(インタビュー)『エコノミスト』第 71 卷 4 号, 1993 年 1 月 26 日

「保険と自己負担と公費のバランスをどう取るか再吟味」(対談：紀伊国献三氏と)『月刊フェイズ』通巻 102 号, 1993 年 2 月

「直言・提言：‘情報のトンネル効果’に期待」(インタビュー)『日経ロジスティクス』第 28 号, 1993 年 7 月

「(特別インタビュー) 社会保障と医療保険の将来ビジョン」『月刊けんぽ』創刊 400 号記念特集, 第 34 卷 8 号, 1993 年 8 月

「(人ひとり) 二重の解決が建議の柱——医療保険審議会会長」(インタビュー)『週刊社会保障』Vol. 48, No. 1773, 1994 年 1 月 17 日

「(特別インタビュー) 医療と福祉の境界が今後の方向を決める」『週刊社会保障』Vol. 48, No. 1788, 1994 年 5 月 2—9 日

「21 世紀を展望した医療保険制度の改正」(座談会：田中滋, 多田宏氏と)『時の動き(政府の窓)』950 号, 1994 年 10 月 1 日

「21 世紀における社会保障と医療」(対談：坂上正道氏と)『病院』第 54 卷 1 号, 1995 年 1 月

「(特別インタビュー) 介護保険をはさんで医療と福祉の仕切り直し」『総合社会保障』33 卷 2 号, 1995 年 2 月

「(人) 保険改革に取り組む, 医保審会長」(インタビュー)『産経新聞』1995 年 5 月 25 日

「介護保険は医療保険より公費負担増の発想も」(インタビュー)『日経ヘルスケア』73 号, 1995 年 11 月